





# 高品質な製品の提供を通じ、安全・安心な生活環境づくりに貢献していきます。



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第118期第2四半期連結累計期間(平成30年5月1日から平成30年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

平成31年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

### Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか?

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、猛暑や台風などかつてないほどの異常気象による漁業関連業者への影響や、一部水産資源の漁獲量の規制など厳しい状況にありますが、世界的な魚食ブームの拡大により、輸出額は年々増加傾向にあるなど、経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、養殖網や海苔網の受注は増加しましたが、近海旋網や海外旋網漁業の不漁の影響により旋網部門の受注が減少し、前年同期と比べて減少しました。営業利益は、生産の省力化を目指し、無駄な費用の削減に努めておりますが、原材料費の上昇、運送費や人件費等の費用が増加したことにより、前年同期と比べて減少しました。営業外費用で持分法による投資損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,729百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は216百万円(前年同期比45.0%減)、経常利益は287百万円(前年同期比34.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円(前年同期比51.6%減)となりました。

### Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

漁業関連事業につきましては、定置網部門を中心にオリジナル商材の販売を積極的に行ない、引き続き提案型営業に取り組むことで、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、陸上用ネットの施工工部門は、引き続き安定した受注を見込んでおります。また、同事業の主力商品である獣害防止ネット、スポーツネット、遊具関連ネット等を中心に積極的に拡販してまいります。

平成31年4月期の通期業績につきましては、売上高20,000百万円、営業利益1,150百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益750百万円を見込んでおります。配当につきましては、第118期の期末配当金として1株当たり50円を予定しております。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 漁業関連事業

7,460百万円 (85.46%)

売上高は7,460百万円(前年同期比1.1%減)となりました。主な要因は、養殖網や海苔網等の受注は増加しましたが、近海旋網や海外旋網漁業の不漁により旋網部門の受注が減少したことによるものです。利益面は、原材料費の上昇、運送費や人件費等の費用が増加したことにより、セグメント利益は221百万円(前年同期比39.0%減)となりました。

### 事業紹介



定置網



ロープ

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁場設定や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。



船舶

## 陸上関連事業

1,265百万円 (14.49%)

売上高は1,265百万円(前年同期比2.5%減)となりました。主な要因は、獣害防止ネットや遊具ネット等の受注は増加しましたが、施工工事の売上高及び防虫網等の産業用資材の受注が減少したこと等によるものです。利益面は、施工工事の売上高が減少したこと等により、セグメント損失は4百万円(前年同期は31百万円の利益)となりました。

### 事業紹介



獣害防止ネット



防球ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しております。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっております。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応してまいります。



遊具ネット

